

令和元年度の事業概要

1 事業総括

(1) 概要

本年度はとっとり花回廊以外の7施設が指定管理期間の1年目の年であり、なかでもかっこ館は指定管理受託初年度であった。また響の森と花回廊は開園20周年の年であり、記念行事や事業を行った。

鳥取県において台湾や上海へのチャーター便の就航に伴い、運航開始に合わせて行われた現地商談会に当事業団も参加し、運営施設や周辺観光施設のPRを行った。その他にも中国大連市での商談会に鳥取県施設連絡協議会と連携して参加し、中国からの新たな販路の開拓に努めた。また台湾肥料(台北市)と当事業団との間で、とっとり花回廊での肥料の研究に関してMOUを交わした。台湾全土へとっとり花回廊をPRするとともに企業のインセンティブツアーで集客につなげていきたい。

また花回廊において、鳥取県主導で「魅力向上検討会議」が開催され当事業団も参画をした。検討会では花回廊が抱える課題を整理した上で委員からの意見を「鳥取県立とっとり花回廊魅力向上検討会議検討結果報告書」にまとめられた。予算措置が行われ令和2年度に事業が追加されることとなった。

各施設の連携に関しては、総務会議、集客担当者会議などを通じて、横のつながりを図りながら、消費税増税対応やキャッシュレス決済の導入、各事業のマトリクス分析や保有資産の共有化により、スケールメリットを活かした事業の充実に向けた取組を行った。

また、お客様満足度向上員会にて顧客満足度の向上を目的とした施策を取りまとめ、提案書として理事長に報告を行った。

令和2年4月からの同一労働同一賃金については顧問社会保険労務士と協議を重ね、病気休暇、特別休暇等について職責や雇用期間に応じて変更する体制を整えた。

今後、研修事業をはじめとした職員の育成や職場環境の充実を図るとともに、更に効率的な集客活動や業務の検討を行い、安定的かつ継続的な管理運営を目指していきたい。

(2) 受託施設の利用状況

米子ソウル便の非運航による韓国人観光客の減少や2月以降の新型コロナウイルス感染症の影響を受けインバウンドの減少があったものの、5月の大型連休が10連休であったことや暖冬で積雪がなかったことによる利用者増が影響し、最終的に昨年度を上回ることができた。

個別では、かっこ館が好調で前年対比137.7%。マスコミに取り上げられることも多く、初年度から好スタート切ることができた。響の森は県や町、地元と協力して20周年記念事業「山フェス」を開催。2,000人を超える来場者があったことで増となった。花回廊は20周年の記念事業や、イルミネーションで安定した集客ができたため、昨年を上回った。こどもの国と夢みなどタワーでは天井耐震工事が行われ施設の利用制限を行った。こどもの国は冬季天候に恵まれ野外での利用が増え影響は少なかったが、タワーはエントランス全体が工事となったため利用の制限があったことに加え、春休み期間に予定していた日本海新聞との共催事業も新型コロナウイルスの影響で中止となったことも加わり、大きく減じた。同じく、日本海新聞との共同イベントの影響が大きい燕趙園は、企画内容に集客の差が表れ、最終的な利用者数にもその結果が反映される形となった。梨記念館は、インバウンド客が大きく減じたものの、国内の利用が増えたこともあり増加した。

施設合計の利用者数は1,576,606人と、対前年度との比較で107.8%、計画に対しては96.3%となった。

〔総利用者〕

施設名	令和元年度		30年度 実績（人）	達成率	対前年比較
	計画（人）	実績（人）			
鳥取砂丘こどもの国	170,000	152,224	151,970	89.5%	100.2%
とっとり賀露かっこ館	250,000	353,099	256,381	141.2%	137.7%
氷ノ山自然ふれあい館	44,000	54,768	39,771	124.5%	137.7%
東郷湖羽合臨海公園	420,000	381,878	378,414	90.9%	100.9%
中国庭園燕趙園	100,000	58,216	70,193	58.2%	82.9%
鳥取二十世紀梨記念館	130,000	143,730	141,509	110.6%	101.6%
夢みなとタワー	144,000	100,830	107,609	70.0%	93.7%
とっとり花回廊	380,000	331,861	316,412	87.3%	104.9%
合 計	1,638,000	1,576,606	1,205,878	96.3%	107.8%

(3) 収支状況

①補正予算成立後の現計予算との対比

正味財産増減額については、全体で5,979千円の赤字を見込んでいたが、最終的に黒字額は26,410千円となった。補正予算とは32,389千円の差額が生じ、着地点を予想した最終決算見込額とは25,524千円の差額が発生した。

収入は全体で1,701,879千円、支出は全体で1,675,808千円となった。

②平成30年度決算額との対比

収入は全体で129,977千円の増加、支出も全体で106,540千円の増加となった。

収入増の主な要因は、県管理運営受託事業収入の増や梨記念館の売店・喫茶の好調等が挙げられる。支出の増の主な要因は、処遇改善による人件費、施設管理の委託料、修繕費、20周年事業に係る広告宣伝費、売店収入増に伴う仕入れ材料費の増が挙げられる。

正味財産増減額については昨年度が3,204千円の黒字であったが、差異としては23,206千円プラスとなった。

(決算総括表)

区分	項 目	令和元年度 当初予算額	補正額	令和元年度 現計予算額 A	令和元年度 決算額 B	30年度 決算額 C	B-A	B-C
収入	受託事業収入	1,015,671	1,594	1,017,265	1,017,790	921,530	525	96,260
	収益事業収入	732,410	△51,341	681,069	681,391	647,394	322	33,997
	その他の収入	684	1,820	2,504	2,698	2,978	194	△280
	小 計	1,748,765	△47,927	1,700,838	1,701,879	1,571,902	1,041	129,977
支出	管 理 費	88,428	△8,512	79,916	77,439	84,081	△2,477	△6,642
	事 業 費	1,660,337	△33,096	1,627,241	1,598,369	1,485,187	△28,872	113,182
	小 計	1,748,765	△41,608	1,707,157	1,675,808	1,569,268	△31,349	106,540
収 支 差		0	△6,319	△6,319	26,071	2,634	32,390	23,437
経常外増減額		0	340	340	339	570	△1	△231
正味財産増減額		0	△5,979	△5,979	26,410	3,204	32,389	23,206

2 鳥取県からの指定管理者受託業務

(1) 受託施設

- ア. 鳥取県立鳥取砂丘こどもの国
- イ. 鳥取県立とっとり賀露かっこ館
- ウ. 鳥取県立氷ノ山自然ふれあい館
- エ. 鳥取県立東郷湖羽合臨海公園（引地地区を除く。）（㈱チュウブとの共同運営）
- オ. 鳥取県立東郷湖羽合臨海公園（引地地区に限る。）
- カ. 鳥取県立鳥取二十世紀梨記念館
- キ. 鳥取県立夢みなとタワー
- ク. 鳥取県立とっとり花回廊

(2) 受託業務

- ア. 受託施設に係る利用・集客促進に関すること
- イ. 受託施設の維持管理に関すること
- ウ. 受託施設の料金等の徴収に関すること
- エ. 受託施設の利用者等に対する供用上の指導等に関すること
- オ. その他、受託施設の全てに付帯する事務に関すること

令和元年度事業実績報告書

【 鳥取砂丘こどもの国 】

1 事業概要

(主な取り組み)	(主な取り組みに対する結果等)
<p>1 「花の丘造成」について</p> <p>①令和2年度春開花予定の花畑(700㎡)を、本年度より造成。 ②令和2年度からは、新たな観光スポットを作り、新しい顧客層の獲得を目指す。</p> <p>2 「ぼうけんアスレチックの新設」について</p> <p>①今まで整備を行ってきた、樹林地に木製アスレチック遊具を設置する。 ②小学校中高学年も楽しめる遊具を導入し、更なるリピーターの獲得を狙う。</p> <p>3 県内企業等との連携事業</p> <p>①マルイとの共同開催としマルコイベントを実施した。 ②じどうかんフェスタ実行委員会と「じどうかんフェスタ」を開催した。</p> <p>4 特に父親、男性と子どもを対象としたイベント開催</p> <p>①ワンオペ育児解消イベント「お父さんとアウトドアクッキング」「鳥取県ストレスオフイベント」などを行った。</p> <p>5 訪日外国人観光客へのサービス向上策について</p> <p>①パスポート提示で入園料半額減免を実施し、外国人の注目度の高い鳥取岩美地域の観光周遊での立ち寄り利用を促進する。</p>	<p>1 「花の丘造成」について</p> <p>①造成しチューリップを植えている。生育は順調。</p> <p>2 「ぼうけんアスレチックの新設」について</p> <p>①入札を行い、施工業者が決定。次年度以降遊具を設置する。令和2年度は2台、令和3～5年度は1台ずつ設置予定。</p> <p>3 県内企業等との連携事業</p> <p>①今年で4回目の開催で、地元企業と連携し「食」の楽しみを多くの来園者に提供した。利用促進はもとより、こどもの国の知名度アップが図れた。子育て世代以外の入園者が増加した。 ②こどもの国での開催は今年で2回目。鳥取市内の児童館が合同で行うイベントで、参加者もスタッフも多く、賑わいを見せた。</p> <p>4 特に父親、男性と子どもを対象としたイベント開催</p> <p>①男性の育児参加を促すイベントを行った。男性には力仕事を行ってもらうなど、父親の力を発揮する企画を行い概ね好評であった。今後、同様のイベントを増やし、育児支援につなげる。</p> <p>5 訪日外国人観光客へのサービス向上策について</p> <p>①過去の入園者数はわからないが、約700名の訪日外国人旅行者に利用いただいた。</p>

2 入園者一覧表(年間計画、実績)

(単位:人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和元年度目標(人) A	19,000	36,000	16,000	16,000	28,000	11,000	11,000	8,000	3,000	4,000	3,000	15,000	170,000
令和元年度実績(人) B	16,448	27,677	13,627	13,065	25,338	9,708	12,165	9,837	3,058	6,487	5,665	9,149	152,224
対目標比率(%) C=B/A	86.6%	76.9%	85.2%	81.7%	90.5%	88.3%	110.6%	123.0%	101.9%	162.2%	188.8%	61.0%	89.5%
平成30年度実績(人) D	19,411	23,468	15,116	11,482	25,229	11,414	11,533	8,823	3,498	4,945	4,579	12,472	151,970
対元年度比率(%) E=B/D	84.7%	117.9%	90.1%	113.8%	100.4%	85.1%	105.5%	111.5%	87.4%	131.2%	123.7%	73.4%	100.2%
入園者の推移、増減要因	<p>1 入園者の推移 対前年 5・7・8・10・11・1・2月 増 4・6・9・12・3月 減 通算 +254人</p> <p>2 増減要因</p> <p>5月 休日増、GW好天により増 7月・8月 平成30年度の大坂及び山陽地方の災害がなかったことにより増 10月・11月 キャラクターショー9月から10月に変更、10月下旬より始まった大規模工事で入園料を下げたことにより増 1月・2月 冬季大規模工事で入園料を下げたことと、好天により増。また初期新型コロナウイルスの影響で屋内から屋外へ流れたことにより増</p> <p>4月・6月 天候不順、特にキャラクターショーの日(4月)の天候不順により減 9月 キャラクターショー9月から10月に変更により減 12月 大規模工事の影響(入園料を下げたことへの慣れ) 3月 新型コロナウイルスの影響により減</p>												

令和元年度事業実績報告書

【 とっとり賀露かっこ館 】

1 事業概要

(主な取り組み)	(主な取り組みに対する結果等)
<p>1 水生生物飼育の管理水準の確保</p> <p>①再委託先の飼育専門スタッフとノウハウを共有し、管理水準の確保に努めた。</p> <p>②すさみ町立エビとカニの水族館と協定を締結し、飼育技術向上のため職員の研修を実施した。</p> <p>2 目に見える形で変化をアピール</p> <p>①ミニミュージアムショップを開設しサービス向上に取り組んだ。</p> <p>②デザイン性が高く分かりやすいパンフレット、ホームページを作成したほか、これらのイラストデザインを使用した館内サインを作成した。</p> <p>3 自主収入の創出</p> <p>①ミニミュージアムショップ及び自動販売機の新設により、新たな収入を創出した。</p> <p>②体験イベントの有料化、出前かっこ館の実費徴収により、収入を確保した。</p> <p>4 地域・事業団施設との連携</p> <p>①かろいち、わったいな、鳥取空港等の周辺事業者と連携してイベントを開催した。</p> <p>②事業団施設と連携し相互で出前イベントを実施した。</p> <p>③年末年始の多客期におけるイベント告知として、燕趙園と連携してチラシを作成、配布した。</p>	<p>1 水生生物飼育の管理水準の確保</p> <p>①再委託先の飼育専門スタッフからの技術移転が不十分であり、再委託の期間を1年延長した。</p> <p>②H31/4/6に協力協定の調印を行い、協力関係を築けた。広報面で相互協力できたほか、職員の研修を実施して飼育技術の向上に繋げることができた。</p> <p>2 目に見える形で変化をアピール</p> <p>①ミニミュージアムショップや自動販売機を新設し、目に見える形でサービスを向上させた。</p> <p>②広報資材やサインを新しいイラストデザインでリニューアルし、変化をアピールできた。</p> <p>3 自主収入の創出</p> <p>①H31/4/20にミュージアムショップを開店させ、GWの人出を収入に繋げることができた。</p> <p>②創出した自主財源を、新たな魅力づくりに役立てられた。</p> <p>4 地域・事業団施設との連携</p> <p>①6月のわったいな8周年創業祭、7月の鳥取砂丘コナン空港サマーフェスティバル、11月の鳥取かにフェスタにイベント協力したほか、11月の大漁収穫感謝祭ではかっこ館が事務局を担当し、地域ぐるみでのアピールに繋げることができた。また、マリニピア賀露に係るバス停の誘導看板を設置し、周辺施設を含む利便性を向上させた。</p> <p>②、③事業団のスケールメリットを生かしてPRの機会を拡大し、来館者の増加に繋がられた。</p>

2 入園者一覧表(年間計画、実績)

(単位:人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和元年度目標(人) A	21,000	25,000	18,000	25,000	38,000	20,000	20,000	20,000	18,000	17,000	8,000	20,000	250,000
令和元年度実績(人) B	24,780	30,820	22,418	34,634	54,179	30,117	26,155	29,997	26,477	27,428	22,547	23,547	353,099
対目標比率(%) C=B/A	118.0%	123.3%	124.5%	138.5%	142.6%	150.6%	130.8%	150.0%	147.1%	161.3%	281.8%	117.7%	141.2%
平成30年度実績(人) D	20,837	22,155	19,340	23,921	40,343	21,297	19,509	22,791	18,001	16,732	8,699	22,756	256,381
対30年度比率(%) E=B/D	118.9%	139.1%	115.9%	144.8%	134.3%	141.4%	134.1%	131.6%	147.1%	163.9%	259.2%	103.5%	137.7%
入館者の推移、増減要因	<p>【入園者の推移】 対前年比137.7% 対目標比141.2% 各月で前年を上回った。8月を除く各月の入館者数は過去最高を記録し、年間でも過去最高の35万3千人を記録した。</p> <p>【増加要因】 GW10連休、年末年始9連休、暖冬等の特殊要因に加え、①展示の充実(定期的な入れ替え、分かりやすい興味を引く解説)、②サービスの向上(土日、GW、盆休み、年末年始に魅力あるイベントを開催、貸出遊具の充実等)、③情報発信の強化(夏休み、冬休みにチラシを保育園、小学校に配布、SNS発信、ライン広告等)に努めたことが、毎月において増加する結果につながった。但し、3月においては新型コロナウイルスの影響を受け伸び悩んだ。</p>												

令和元年度事業実績報告書

【 氷ノ山自然ふれあい館 】

1 事業概要

(主な取り組み)	(主な取組に対する結果等)
<p>1 自然体験プログラム等の充実</p> <p>①イヌワシホール等を利用した各種展示会等の開催(夏休み特別企画、秋の企画展等)</p> <p>②評判の良い少人数向けのリクエストプログラム「エコツアー」を継続実施。</p> <p>③冬季雪不足対策として、秋の企画展(木の遊び広場)の延期開催や創作体験の開催、スキー教室に代わる学校リクエストへの対応等を行った。</p> <p>2 利用促進に向けた取り組み</p> <p>①SNSにて氷ノ山や響の森周辺の様子、イベントの案内等を発信し、興味・関心のある人へダイレクトに情報伝達した。</p> <p>②インターネットのイベント・プログラム紹介サイト(あそびゅー)に登録し、個人利用者への広報チャンネルとして活用した。</p> <p>③児童クラブや公民館にリクエスト対応等のチラシを配布した。</p> <p>3 地域、団体等との連携</p> <p>①響の森クルー(ボランティア)に、定期的な調査活動や登山・イベントの補助へ取り組んでいただいた。</p> <p>②地元開催の氷ノ山夏山開きに合わせて、協賛イベントの実施。</p> <p>③20周年記念として実行委員会を立ち上げ、若桜氷ノ山・山フェスイventを開催。</p> <p>④地元写真家との一緒に写真撮影のワークショップを開催。</p> <p>4環境に配慮した事業活動への取り組み</p> <p>①入館者1人あたりの電気の使用量削減に取り組むなどして、鳥取県版環境管理システム審査登録制度(TEAS)Ⅱ種規格の認定維持に取り組んだ。</p> <p>5施設の安全管理</p> <p>①職員の救急法トレーニングや安全マニュアルの徹底に努めた。</p> <p>②館内設備を随時点検し職員による修繕を行い、事故を未然に防いだ。</p>	<p>1 自然体験プログラム等の充実</p> <p>①イヌワシホールでは、夏の企画展として地元出身の写真家の写真展を行い、地球環境について考えてもらうきっかけとなった。秋の企画展では丸太を組んで遊び場を作り、親子で楽しんでもらった。</p> <p>開館20周年の写真展や県企画の展示を開催し、多数の観覧者があった。</p> <p>②エコツアーでは家族連れや少人数グループでの対応を行いリピーターの確保にもつながった。</p> <p>③本来の雪を活用したイベントは十分できなかったが、代替機能を果たすことができた。</p> <p>2 利用促進に向けた取り組み</p> <p>①タイミングの良い情報提供により、来館促進につなげることができた。</p> <p>②イベントプログラム紹介サイト(あそびゅー)では手軽に予約できるため利用者の確保もできた。</p> <p>③夏休みに児童クラブの利用が増えた。</p> <p>3 地域、団体等との連携</p> <p>①響の森クルーの方の協力により館内展示の充実やイベント参加者へきめ細かな対応を行うことができた。</p> <p>②運営に協力するとともにゲストによる講演会や登山イベントを開催し好評だった。</p> <p>③地元関係者と共にイベントを開催し、参加者数が約2,000人と盛況だった。</p> <p>④氷ノ山の豊かな自然や家族連れの微笑ましそうな様子を楽しみながら写真撮影してもらった。</p> <p>4環境に配慮した事業活動への取り組み</p> <p>①猛暑により電気使用量の増加などあったが、照明などで節電を行い職員の意識向上につながった。</p> <p>5施設の安全管理</p> <p>①安全・安心して自然体験プログラム等を楽しんで頂いた。</p> <p>②小修繕は職員で行い修繕費を抑え、修繕必要箇所、危険個所の把握も行うことができた。</p>

2 利用者一覧表(年間計画、実績)

(単位:人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和元年度目標(人) A	4,200	10,500	4,310	5,200	6,900	3,010	4,700	2,800	390	670	670	650	44,000
令和元年度実績(人) B	3,397	8,041	3,399	4,579	11,711	1,838	11,262	6,389	598	939	1,806	809	54,768
対目標比率(%) C=B/A	80.9%	76.6%	78.9%	88.1%	169.7%	61.1%	239.6%	228.2%	153.3%	140.1%	269.6%	124.5%	124.5%
平成30年度実績(人) D	3,408	8,421	3,321	4,880	6,430	2,440	4,766	3,042	402	1,035	823	803	39,771
対30年度比率(%) E=B/D	99.7%	95.5%	102.3%	93.8%	182.1%	75.3%	236.3%	210.0%	148.8%	90.7%	219.4%	100.7%	137.7%

利用者の推移、増減要因	<p>◆入館者… 10連休による増(5月)、児童クラブ等団体の増(8月)・山フェス及び秋の企画展開催による増(10、11、12月)、雪が少なく来館しやすいことによる増(2、3月)</p> <p>◆自然体験プログラム… 小中学校の団体利用の減による参加者数の減。(5～7月)、児童クラブ等のリクエスト及び夏休みの企画展観覧者増(8月)、台風によるイベント中止による減(9月)、山フェス参加者及び秋の企画展観覧者等の増(10、11月)、雪不足でイベントは多くが中止となったが、代替イベント及びスキー教室の代わりとしての学校利用の増(1・2月)</p>
-------------	---

令和元年度事業実績報告書

【 東郷湖羽合臨海公園 】

1 事業概要

(主な取り組み)	(主な取り組みに対する結果等)
<p>1 安全・安心な公園づくり</p> <p>①公園に設置している設備等を積極的に修繕を行った。 ②老朽化した遊具等は安全を最優先にし、使用禁止措置を講じた。 ③公園各所に犬の散歩・ゴミの不法投棄表示を行った。</p> <p>2 燕趙園との連携事業</p> <p>①燕趙園花火、秋の感謝祭を共同事業で開催した。 ②燕趙園ボタンまつり、風の音コンサート等、お互いのイベントで連携を図った。</p> <p>3 花と緑のフェア(鳥取県造園建設業協会中部支部との共同事業)</p> <p>①造園建設業協会と連携し、ナチュラルガーデン体験教室や寄せ植え教室を開催するなど、来園者の参加型イベントも開催した。 ②縁日コーナー、工作体験、レイクチューバー体験コーナーを設置し、賑わいを創出した。</p> <p>4 共同企業体との連携事業</p> <p>①公園管理やイベントを共同で行った。</p> <p>5 湯梨浜町との連携事業</p> <p>①「宙ユリ」育成及び展示。</p>	<p>1 安全・安心な公園づくり</p> <p>①木製椅子修繕を行い憩いの場を提供できた。 ②安全な公園管理ができた。 ③犬散歩者のマナーは改善傾向になった。 ゴミ不法投棄箇所に監視カメラ(ダミー)設置し改善した。</p> <p>2 燕趙園との連携事業</p> <p>①各イベントで共同事業開催し来園者増につなげた。 ②各イベントでPR、スタッフ応援等で連携し、飲食の提供も行い来場者に好評であった。</p> <p>3 花と緑のフェア(鳥取県造園建設業協会中部支部との共同事業)</p> <p>①寄せ植え教室などの開催により、多くの来場者に興味関心を持っていただくことができた。 ②親子で楽しめるコーナーの設置で多くの来場者に喜んでいただけた。レイクチューバーは、カヌー協会との連携が図れ、良い試みであった。</p> <p>4 共同企業体との連携事業</p> <p>①自然災害の復旧作業など共同で行い、効率よく復旧ができた。その他の作業も作業場所の優先順位を双方で確認することにより効率よく行った。 春・秋のウォーキングなど主催イベントを連携して行った。</p> <p>5 湯梨浜町との連携事業</p> <p>①「宙ユリ」が開花し、各報道機関の取材を受け「宙ユリ」をPRできた。</p>

引き続き注視し、
早期対応に心がける

2 入園者一覧表(年間計画、実績)

(単位:人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和元年度目標(人) A	31,000	48,000	53,000	44,000	43,000	37,000	41,000	33,000	21,000	19,000	19,000	31,000	420,000
令和元年度実績(人) B	30,272	45,554	50,590	29,387	43,765	39,473	32,547	30,905	19,053	19,345	19,953	21,034	381,878
対目標比率(%)C=B/A	97.7%	94.9%	95.5%	66.8%	101.8%	106.7%	79.4%	93.7%	90.7%	101.8%	105.0%	67.9%	90.9%
平成30年度実績(人)D	27,721	35,322	48,438	38,572	42,988	33,605	33,819	32,579	20,113	18,844	20,162	26,251	378,414
対30年度比率(%)E=B/D	109.2%	129.0%	104.4%	76.2%	101.8%	117.5%	96.2%	94.9%	94.7%	102.7%	99.0%	80.1%	100.9%

<p>入園者の推移、増減要因</p>	<p>◇昨年に比べ、約3500人の増。前期は、GWが10連休だったこともあり、その期間に多くの来園者があったことが大きな要因で、前年を上回っていたが、後期は、大会・催事等の参加者減、また2月末から新型コロナウイルス感染拡大防止のため大会等の中止、施設の1部休業で利用者減、そのためトータルで前年並みという結果になった。</p> <p>◇5月の無料入園者としては、対前年135%。約1万人多い。</p> <p>◇3月の有料入園者は、対前年39%。約4000人の減。キャンセルが相次ぎ、新型コロナウイルスの影響が大きく出た。</p>
--------------------	--

令和元年度事業実績報告書

【 中国庭園 燕趙園 】

1 事業概要

(主な取り組み)	(主な取り組みに対する結果等)
<p>1 中国庭園の魅力発信</p> <p>①中国芸術文化公演やチャイナ服のレンタルなど体験を売りにした集客促進を行った。</p> <p>②来園者に魅力を伝える。</p> <p>③中国の時節に合わせたイベントを実施した。</p> <p>2 周辺施設等との連携事業</p> <p>①中国雑貨とスイーツの店として老龍頭の管理運営を開始した。(4月20日オープン)</p> <p>②新日本海新聞社との共同事業として、アソビーツを行った。</p> <p>③中華コスプレ大会や龍鳳閣との共同のウォーキングイベントを行った。 また東郷湖周の各種ウォーキングイベントと連携を図った。</p> <p>④臨海公園との共同事業として春色フォトラリー・庭園花火を開催したほか、花と緑のフェア・風の音コンサートなど臨海公園主催事業に屋台出店した。</p> <p>3 燕趙園エリアの周遊化</p> <p>①燕趙園・道の駅・レストラン相互の割引券を配布し周遊化に努めた。</p> <p>②道の駅感謝祭、秋の収穫祭を行い、道の駅の周知と利用促進を図った。</p> <p>③泊漁協の協力のもと魚販売を開始したほか、県立倉吉農業高等学校の野菜販売、県立農業大学のイベント協力など周辺の関係団体と協力し商品の充実を図った。</p> <p>4 情報発信と営業の充実</p> <p>①ホームページやツイッターでタイムリーな情報発信を行った。</p> <p>②周辺旅館との合同営業を率先して行った。</p>	<p>1 中国庭園の魅力発信</p> <p>①中国庭園体験の魅力を発信できた。チャイナ服レンタル利用者は増えた。</p> <p>②スタッフが庭園魅力をパネルによりわかりやすく説明することによりお客様満足度の向上が出来た。今後も丁寧な案内に努めていく。</p> <p>③時節イベントは県中部圏域へのPR効果が高く、地元集客の柱となっている。</p> <p>2 周辺施設などとの連携事業</p> <p>①新日本海新聞社との共同事業は、対前年1万人減と大きく減少した。事業内容により集客に差はあるが、県中部の夏期イベントとして定着してきた。</p> <p>②中華コスプレ大会やウォーキング大会は継続的な開催により安定した参加者が確保出来た。また、地域の活性化に繋がった。</p> <p>③長和田公園とポタン園の周遊化を促進した。庭園花火は集客増になったが、集客が見込まれたあやめ感謝祭・こどもまつりは台風やコロナウイルスによりイベントを中止した。更なる継続開催による周知向上が必要。</p> <p>3 燕趙園エリアの周遊化</p> <p>①エリアの来場者に対して一定の周遊効果はある。外部への訴求として道の駅の更なる魅力の付加が必要。</p> <p>②道の駅の活性化と新規顧客獲得には繋がった。減少傾向にあった利用者・売上は増加した。</p> <p>③レストラン利用は前年度と比較し、工事やコロナウイルスによる長期の休業期間があったが利用者は増加した。</p> <p>4 情報発信と営業の充実</p> <p>①イベント情報や花の開花情報の発信は効果があった。</p> <p>②商談会や情報説明会に積極的に参加した。温泉地と近郊観光地のエリアとしての合同営業は効果が高く、今後も継続する。</p>

2 入園者一覧表(年間計画、実績)

(単位:人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和元年度目標(人) A	5,500	9,500	7,000	7,500	25,000	8,000	7,500	9,000	5,000	4,500	5,000	6,500	100,000
令和元年度実績(人) B	4,152	6,581	3,796	5,810	12,688	4,021	4,807	5,602	2,997	3,123	2,338	2,301	58,216
対目標比率(%) C=B/A	75.5%	69.3%	54.2%	77.5%	50.8%	50.3%	64.1%	62.2%	59.9%	69.4%	46.8%	35.4%	58.2%
平成30年度実績(人) D	5,149	5,372	4,324	5,128	22,940	3,666	5,726	5,564	2,788	2,677	2,670	4,189	70,193
対30年度比率(%) E=B/D	80.6%	122.5%	87.8%	113.3%	55.3%	109.7%	84.0%	100.7%	107.5%	116.7%	87.6%	54.9%	82.9%

入園者の推移
及び増減要因

1. 入場者の推移
- ・目標比58.2% 前年比82.9% (個人82.8% 団体83.4%)
 - ・夏休み共催イベント(△9,447人)・2月・3月の新型コロナウイルスの影響による減

令和元年度事業実績報告書

【 鳥取二十世紀梨記念館 】

1 事業概要

(主な取り組み)	(主な取り組みに対する結果等)
<p>梨に関する産業、歴史及び文化への県民理解を深めるとともに、観光及び果樹振興に資するための取り組みを実施する。</p> <p>1 魅力発信</p> <p>① 時季を問わず、一年中3品種の梨の食べ比べができることをセールスポイントの一つにして集客促進を行った。</p> <p>② 梨だけでなく、イチゴ・メロン・ブドウ・スイカ、柿等も試食として提供した。</p> <p>③ 施設のPRとして、国内外を問わず、積極的に取材に応じ館の魅力をアピールした。</p> <p>④ 県観光連盟や地元旅館組合などと連携して旅行会社への商談会やキャラバン隊に参加した。</p> <p>⑤ HPだけでなくSNSによる情報発信にも一層取り組んだ。</p> <p>2 イベントの充実</p> <p>① 毎月最終日曜日に開催する無料感謝デーを継続実施し、入館者増加及び地域貢献に努めた。</p> <p>② 子ども楽しめるよう多様なイベントを開催し、魅力向上に取り組んだ。</p> <p>③ 外部団体との連携で、梨料理の試食会、スイーツ作りを行った。</p> <p>④ 梨ガーデンにおいて、摘果・袋かけ・梨狩りなどで、直接梨に触れる体験学習イベントを開催した。</p> <p>⑤ 地域連携事業への参加や地域イベントへの協賛を積極的に行った。</p> <p>3 梨農家支援の充実</p> <p>① 「鳥取梨づくり大学」の開講を継続して専門知識の普及を図った。</p> <p>② 「梨のなんでも相談室」を常設して技術専門員が対応した。</p>	<p>1 魅力発信</p> <p>① 特に団体客、外国人客に対して大きなアピールポイントとなっており、集客促進に寄与した。また、期間限定でゲスト品種を追加するなど魅力アップを図った。</p> <p>② 梨以外の果物の試食を提供することにより、県産果実の振興に貢献した。</p> <p>③ テレビ・ラジオなどを目にした耳にしたと反響がありマスコミによる宣伝効果があった。</p> <p>④ 旅行商品として梨記念館をツアーに組み込んでもらうことにより、団体客の誘客につながった。</p> <p>⑤ フェイスブックによる情報発信に加え、なしっこ館公式LINEスタンプの発売を開始した。</p> <p>2 イベントの充実</p> <p>① 無料感謝デーの入館者は6月、8月、10月、3月以外は前年比で増加となり、合計で23,880人（前年比1,384人増、106.1%）となり地域に定着している。</p> <p>② 子どもたちに要望が多い「ナッシー」を登場させ、親子での入館を促進できた。またプラレールの展示や大道芸人のショーに加えて、新たに集客力のある体験型ワークショップも含めた多様なイベントを実施して来館者の満足度向上に貢献した。</p> <p>③ 毎月梨を活用した試食会やスイーツ作りを開催し、満足度向上と果樹振興につながった。</p> <p>④ 実際の梨を使用した梨づくり体験ができることや夏休みの自由研究教室が梨産業への理解促進や魅力向上につながった。</p> <p>⑤ 鳥取中部ミュージアム周遊企画商品、北斗の拳周遊企画などの地域連携事業、未来ウォーク等地域イベントへの協賛、また中部地震福高祭にも地域の一員として参加した。</p> <p>3 梨農家支援の充実</p> <p>① 「鳥取梨づくり大学」を年11回開催し、梨生産農家や新規就農希望者に対して専門知識を普及するとともに情報交換の場を提供した。</p> <p>② 「梨のなんでも相談室」で梨栽培の技術相談を受けることにより、梨農家等への支援に貢献した。</p>

2 入館者一覧表(年間計画、実績)

(単位:人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和元年度目標(人) A	9,000	11,500	8,500	11,500	22,000	12,500	12,000	12,500	7,000	7,000	7,000	9,500	130,000
令和元年度実績(人) B	11,126	12,534	9,321	12,658	25,493	17,067	11,597	12,413	7,993	8,042	9,726	5,760	143,730
対目標比率(%) C=B/A	123.6%	109.0%	109.7%	110.1%	115.9%	136.5%	96.6%	99.3%	114.2%	114.9%	138.9%	60.6%	110.6%
平成30年度実績(人) D	10,052	11,443	9,277	11,734	23,136	12,974	11,754	12,599	7,243	6,974	10,871	13,452	141,509
対30年度比率(%) E=B/D	110.7%	109.5%	100.5%	107.9%	110.2%	131.5%	98.7%	98.5%	110.4%	115.3%	89.5%	42.8%	101.6%

<p>入館者の推移、増減要因</p>	<p>【推移】</p> <p>・月単位では前年4月から当年9月まで18ヶ月連続で前年比増加が続き、年間で143,730人と指定管理期間で過去最高だった前年度を上回り、前年比では2,221人の増加(101.6%)となった。この内外国人は13,147人であり前年比で9,147人の減少(59.0%)となった。2月には開館以来通算の入館者数200万人を達成した。</p> <p>【要因】</p> <p>・3月は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きな減少となったが、比較的天候にも恵まれ、集客が見込まれる体験型イベントを開催したことなどにより日本人客を中心に入館者数が増加した。また、入館料が比較的安価な上、ホームページやフェイスブック及び旅行会社への説明等による情報発信などによって幅広い年齢層に利用いただける施設の知名度も向上している。</p> <p>・近年増加傾向が続いていた外国人観光客は、7、8月の大型クルーズ客船での中国人観光客による増加もあったが、全体的には国際情勢の悪化や新型コロナウイルス感染症などの影響により主要な来館者である韓国(前年比22.7%)、香港(同82.2%)、台湾(同48.6%)を中心に観光客が大幅に減少した。</p>
--------------------	--

令和元年度事業実績報告書

【 夢みなどタワー 】

1 事業概要

(主な取り組み)	(主な取り組みに対する結果等)
<p>1 地域との連携と観光振興</p> <p>①新日本海新聞社との連携イベント(春、夏)で入場者(約57,500人)を集めた。</p> <p>②夢みなど公園まつり実行委員会で開催する「公園まつり」(春、夏の大型イベント時を中心として)を開催した。</p> <p>③境港駅からタワーへと結ぶシャトルバスを運行(GW、盆の計8日間)した。</p> <p>④和菓子祭、ほっとはあと&福祉ふれあいまつり、夢みなど子どもまつり、eスポーツイベント等、各種団体と連携したイベントを開催した。</p> <p>⑤クルーズ船寄港時に、外国語での入館誘導やトリピーグッズの販売を行った。また、周辺施設等と連携して賑わいを創出した。</p> <p>2 情報発信と営業の充実</p> <p>①ホームページやfacebook、Twitter、Insragramなどでタイムリーな情報提供を行った。</p> <p>②イベントチラシを、スタッフ全員で、鳥取県全域島根県及び岡山北部の小学校や保育園に配布した。</p> <p>③市報や商工会議所だよりなど地元広報誌掲載した。</p> <p>3 展示のリニューアル・環日本海交流の実施</p> <p>①ロシアの民芸品マトリョーシカの展示をリニューアルした。</p> <p>②国際交流の日の設定し、イベントを通じて環日本海諸国の紹介(展示、食、体験等)を行った。</p>	<p>1 地域との連携と観光振興</p> <p>①新日本海新聞社との連携イベント(春、夏)はGW10連休、夏の水族館で大幅に来場者を増やしたが、年度末から開催予定だった「ざんねんないきもの事典」がコロナの影響で中止となり、年間では8,500人の減少となった。</p> <p>②夢みなど公園まつり実行委員会で開催する「公園まつり」では周辺地域と連携し地域を盛り上げた。</p> <p>③境港駅からタワーへと結ぶシャトルバスを運行、地域の観光活性化に寄与した。</p> <p>④若者を中心に人気のあるeスポーツのイベントを、地元の関係団体と協力し開催した。</p> <p>⑤大型クルーズ船客の周辺エリアへの立ち寄り対応やフリー客のタワーへの入館等年間を通じてあった。</p> <p>2 情報発信と営業の充実</p> <p>①ホームページやfacebook、Twitter、InsragramなどSNSを有効に活用し、常にタイムリーな情報提供を行い、催事の周知を図った。</p> <p>②スタッフ全員でチラシを配布することで、全員が営業マンである意識を高めている。</p> <p>③地元広報誌掲載し、地域の集客に努めた。</p> <p>3 展示のリニューアル・環日本海交流の実施</p> <p>①地元紙にも取り上げられ、売店のマトリョーシカの売上も上がった。</p> <p>②今年度は、1月に国際交流の日韓国&ロシアを実施し来場者が増加した。</p>

2 入園者一覧表(年間計画、実績)

(単位:人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和元年度目標(人) A	23,000	17,000	6,000	16,000	46,600	5,600	3,600	2,800	3,700	1,800	1,900	16,000	144,000
令和元年度実績(人) B	15,705	12,529	6,526	19,463	27,673	3,739	4,323	2,429	2,767	2,490	1,325	1,861	100,830
対目標比率(%) C=B/A	68.3%	73.7%	108.8%	121.6%	59.4%	66.8%	120.1%	86.8%	74.8%	138.3%	69.7%	11.6%	70.0%
平成30年度実績(人) D	10,716	9,498	7,099	14,777	24,507	5,390	4,426	3,966	5,465	2,510	2,062	17,193	107,609
対30年度比率(%) E=B/D	146.6%	131.9%	91.9%	131.7%	112.9%	69.4%	97.7%	61.3%	50.6%	99.2%	64.3%	10.8%	93.7%
入館者の推移、増減要因	<p>【対目標比】70.0% 【対前年比】93.7 %</p> <p>日本海新聞社との共催により、春に「ダンボール遊園地」、夏には「タヒチの海の水族館」を開催したところ、GW10連休や水族館の人気もあって春・夏共に前年を大幅に上回った。9月から2月にかけては、特定天井工事の影響によって減少した。また、3月はコロナウイルスの影響により「フリーマーケット」や日本海新聞社との共催イベント「ざんねんないきもの事典」が中止になったことで約15,000人の大幅な減となり、年間トータルでは、対前年比93.7%と減少した。</p>												

令和元年度事業実績報告書

【とっとり花回廊】

1 事業概要

(主な取り組み)

1 植栽

- ①開園20周年を迎え「Bloom!(=花が咲く、開花させる)」をテーマに、季節毎に色彩豊かな花の特徴を活かし、植物の見せ方に工夫を凝らして新たな楽しみ方を提案する展示を行った。
- ②写真スポットには台湾花博出展を記念して鳥取県ブースの再展示を行った。
- ③春には「10万輪の花トンネル」の名称でプロムナード橋にてハンギングバスケットのアニバーサリー企画展示を行った。

2 催事

- ①春の大型連休において、20周年企画としてメリーゴーランドや大道芸、デジタルアート、大型エア遊具など子供向けのイベントをそろえ、園内全体が遊園地となる演出を行った。
- ②改元や鳥取県民の日にちなんだ花文字作り体験を実施することで話題作りに努め、誘客を図った。
- ③57日間にわたって「フラワーイルミネーションinとっとり花回廊」と称して140万球規模のイルミネーションイベントを開催した。

3 広報

- ①春の繁忙期、イルミネーションに向けテレビスポット及び番組招致を行い誘客を図った。
- ②ホームページに多言語対応ページを加え、スマートフォン対応画面にリニューアルした。
- ③地元ケーブルテレビの朝の情報番組に隔週出演し、旬の見頃情報を発信した。専任のスタッフによるフェイスブック、ツイッターの情報発信を継続して行った。

4 営業

- ①周辺観光施設との連携により、季節毎のプランを造成し、大型団体の誘客を図った。
- ②周辺観光施設と連携し国内のクルーズ船ランドオペレーター社への継続的な営業、韓国および台湾での現地旅行会社への営業、海外旅行社FAMツアー視察対応での園内PR等を行いインバウンド客の誘客に努めた。新規就航した米子上海便利用者の集客に向けて、上海での現地セールス及び上海吉祥航空と共同でPRを行った。

5 交流事業

- ①花きに関する関心、理解を深めてもらうため園芸教室、体験教室、講演会、ハンギングバスケット・コンテナ展などを開催した。
- ②南部町との連携によるなんぶ町民花火大会や盆踊り大会、鳥取県や南部町及び地元ラジオ局と連携して大型コンサートを開催した。

(主な取り組みに対する結果等)

1 植栽

- ①趣向を凝らしてお客様が楽しめる展示を行い、好評であった。
- ②大山を借景に記念撮影ができる展示とし、多くのお客様が写真を撮られた。
- ③ハンギングバスケットを間近に多くのお客様に見て頂いた。

2 催事

- ①ファミリー層を意識した集客が功を奏し、個人客が大幅に増加した。
- ②広報・広告施策により、個人客が大幅に増加。団体の花文字作成ツアーも好評であった。
- ③高さを意識した昨年までとは違う見せ方の施工を行い、お客様の評判は良かった。今年より乗車可能となった「フラワースタートレイン」や、寒さ対策のため飲食スペースをピクニックコーナーに移動したイルミネーションキッチンも好評であった。

3 広報

- ①春の繁忙期、イルミネーション期間中の個人客が増加した。
- ②インバウンドを含めたより幅広い層へPRすることができた。
- ③旬の見頃情報を発信した。

4 営業

- ①新型コロナウイルスの影響によるキャンセルにより、団体客は減少した。
- ②日韓関係の悪化や新型コロナウイルスの影響による外国便の運休により外国人客は減少した。

5 交流事業

- ①花き園芸に対する理解を深めてもらいその普及に努めた。
- ②コンサートは県外を含め1,500名が来場するとともにTV、ラジオCMで花回廊をPRすることが出来た。来年度も引き続き実施予定。

2 入園者一覧表(年間計画、実績)

(単位:人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和元年度目標(人) A	56,000	67,400	29,800	12,300	24,700	19,600	24,700	38,100	53,100	20,100	5,200	29,000	380,000
令和元年度実績(人) B	52,093	70,374	24,938	12,847	19,240	14,748	23,651	35,977	38,355	18,169	5,091	16,378	331,861
対目標比率(%) C=B/A	93.0%	104.4%	83.7%	104.5%	77.9%	75.2%	95.8%	94.4%	72.2%	90.4%	97.9%	56.5%	87.3%
平成30年度実績(人) D	48,072	50,192	28,841	10,205	20,932	17,796	23,230	34,736	39,043	16,675	7,235	19,455	316,412
対30年度比率(%) E=B/D	108.4%	140.2%	86.5%	125.9%	91.9%	82.9%	101.8%	103.6%	98.2%	109.0%	70.4%	84.2%	104.9%

入園者の推移、増減要因

【対目標比】87.3% 【対前年比】104.9%
 4月は開園20周年セレモニー、友の会キャンペーンにより前年より増加。5月は20周年企画花回廊遊園地と天候に恵まれたことで前年より大幅に増加。6月は団体客の減により前年より減少。7月はイベント「鏡の花迷路」が好調で前年より増加。8、9月は台風の影響や団体客の減により前年より減少。10月は20周年記念秋の園芸フェアの効果により前年より増加。11月は山陽方面へイルミネーションのTVCMを実施した効果により前年より増加。12月は団体、外国人の減により前年より減少。1月は天候に恵まれ前年より増加。2月は昨年度無料開放で約3,500名の入園があったことにより前年より大幅に減少。3月は新型コロナウイルスの影響により7,000名以上の団体のキャンセルがあり前年より大幅に減少した。

一般財団法人鳥取県観光事業団 給与等状況報告書

1 職員給与の状況（令和元年度）

職員数	給 与 費			
	給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計
50 人	158,034 千円	37,915 千円	53,634 千円	249,583 千円

(注) 職員手当は、退職手当、期末手当及び勤勉手当を含みません。

2 職員の平均給料月額、平均給与月額及び平均年齢の状況（令和2年4月1日現在）

一般職		
平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
258,243 円	302,329 円	44.2 歳

(注) 1 「平均給料月額」は扶養手当等の職員手当を含まない給料のみの平均月額です。
 2 「平均給与月額」は、給料月額と毎月支払われる手当（期末手当、勤勉手当及び退職手当以外の手当）とを合計したものの平均月額です。

3 職員の初任給の状況（令和2年4月1日現在）

区 分	初 任 給	備 考
一般職	大学卒	164,300 円
	高校卒	143,000 円

4 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（令和2年4月1日現在）

区 分	経験年数	5年	10年	20年	30年	備考
	一般職	大学卒	199,000 円	220,200 円	236,100 円	
高校卒		174,800 円	204,000 円	223,600 円	- 円	

(注) 「経験年数」は、採用後の年数に採用前の職歴などの期間を職員の期間として換算した年数を加算したものです。

5 職員手当の状況（平成31年4月1日現在）

区 分	内 訳		
期末手当 勤勉手当	〔支給割合〕		
	区 分	期末手当	勤勉手当
	6月期	1.20 月分	0.70 月分
	12月期	1.20 月分	0.70 月分
	計	2.40 月分	1.40 月分
	職制上の段階、職務の 級等による加算措置 有		
	〔令和元年度実績〕		
	支給総額	支給職員数	1人当たり平均支給額
	53,633,461 円	52 人	1,031,413 円
退職手当 （県の規定に準ず る）	〔支給率〕		
	区 分	自己都合	勸奨・定年
	勤続 20 年	19.6695 月分	24.586875 月分
	勤続 25 年	28.0395 月分	33.270750 月分
	勤続 35 年	39.7575 月分	47.709000 月分
	勤続 40 年	44.7795 月分	47.709000 月分
	（その他の加算措置） 定年前早期退職特例措置（ 2%～ 20%加算） 25年以上勤続した年齢50歳以上の職員が、定年前勸奨等により 退職する場合には加算があります。		
	〔令和元年度実績〕		
	支給総額	支給職員数	1人当たり平均支給額
	38,350,000 円	3 人	12,783,333 円
	（注）1 （ ）内は、勸奨、定年及び早期退職制度による退職者への 支給実績を再掲したものです。 2 退職手当の1人当たり平均支給額は、令和元年度に退職した 一般職員に支給された平均額です。		
時間外勤務手当	〔令和元年度実績〕		
	支給総額	支給職員数	1人当たり平均支給年額
	9,575,184 円	28 人	341,971 円
年末年始手当 12/30～1/2の間に 勤務を命じられた 職員	その勤務1日につき 2,000円（半日につき1,000円） 〔令和元年度実績〕		
	支給総額	支給職員数	1人当たり平均支給年額
	89,000 円	23 人	3,870 円

区分	内 容				
	対象職員	支 給 月 額			
管理職手当	一定の管理または監督の地位にある職員	給料表、職務の級、手当区分に応じて定額を支給			
		本部長、園長、館長	50,000 円		
		次長、副園長（とっとり花回廊に限る）	40,000 円		
		副園長（とっとり花回廊を除く）、副館長、部長、参事 シニアマネージャー	30,000 円 20,000 円		
		〔令和元年度実績〕			
		支給総額	支給職員数	1人当たり 平均支給月額	
		9,760,000 円	19 人	42,807 円	
扶養手当 (県の規定に 準ずる)	扶養親族として配偶者、子等を有する職員	ア 配偶者、父母等	6,500 円		
		イ 満22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子	9,200 円		
		15歳に達する日以後の最初の4月1日から22歳に達する日以後の最初の3月31日まで	1人につき 5,000 円を加算		
			〔令和元年度実績〕		
			支給総額	支給職員数	1人当たり 平均支給月額
			6,361,500 円	25 人	21,205 円
住居手当 (県の規定に 準ずる)	住宅を借り受け月額12,000円を超える家賃を支払っている職員	ア 借家・借間居住者	家賃の額に応じ、 最高 27,000 円まで支給		
		イ 単身赴任手当受給者で配偶者に居住させるため借家・借間を借り受けている者	借家・借間居住者の例によった場合の額の2分の1相当額		
			〔令和元年度実績〕		
			支給総額	支給職員数	1人当たり 平均支給月額
			4,729,200 円	17 人	23,182 円

区分	内 容			
	対象職員	支 給 月 額		
通勤手当 (県の規定に 準ずる)	交通機関等を利用し、または自動車等を使用して通勤している職員	ア 交通機関等利用者	次の①または②のうち、支給単位期間当たりの額が低い方の額。 ①支給単位期間の間通用する定期券の額 ②通勤21回分の回数券の額 <最高限度額 55,000 円>	
		イ 自動車等使用者	通勤距離に応じ、月額 1,600 円から 50,100 円の範囲内で支給	
		ウ 特別急行列車等利用	1か月の特別急行料金等の2分の1の額を加算（高速自動車国道等特別料金等については2万円を限度）	
		エ 駐車料金を負担している場合 (パークアンドライド)	公共交通機関等及び自動車等に係る通勤手当をともに受けている職員が、公共交通機関の利用に伴って駐車場を利用し、駐車料金を負担することを常例としている場合に、当該駐車料金を相当する額を支給 (1ヶ月あたり 3,000 円を上限とする。)	
	〔令和元年度実績〕			
		支給総額	支給職員数	1人当たり 平均支給月額
	7,986,750 円	49 人	13,583 円	
単身赴任手当 (県の規定に 準ずる)	異動等を原因として単身赴任となった職員	月額 30,000円+加算額 〔加算額〕 職員の住居と配偶者の住居の交通距離に応じて、6,000円から58,000円までの範囲で定める額。ただし、100キロメートル未満の場合は加算はなし		
		〔令和元年度実績〕		
		支給総額	支給職員数	1人当たり 平均支給月額
		360,000 円	1 人	30,000 円
宿日直手当	宿日直勤務を命じられた職員	その勤務1回につき 4,400円		
		〔令和元年度実績〕		
			支給総額	支給職員数
	52,800 円	2 人	2,200 円	

6 役員報酬等の状況 (令和2年4月1日現在)

区分	報酬月額	期末手当		備考
理事長	340,000 円	6月期	1.80月分	加算率45%
評議員	1日につき20,000 円			
非常勤理事	1日につき20,000 円			
非常勤監事	1日につき30,000 円	12月期	1.90月分	理事会出席時は1日につき、20,000円

[令和元年度実績]

①常勤役員

支給総額	支給者数	1人当たり 平均支給月額 (期末手当等を含む)
5,956,400 円	1人	496,367 円

②非常勤役員

支給総額	支給者数	1人当たり 平均支給月額
1,140,000 円	11人	8,636 円